

あゝ街の都市伝説



この街には一つの都市伝説があった

ネットの片隅で語られるそれは非現実でありながら、時折書かれる体験談はとても生々しく私の興味を引いた



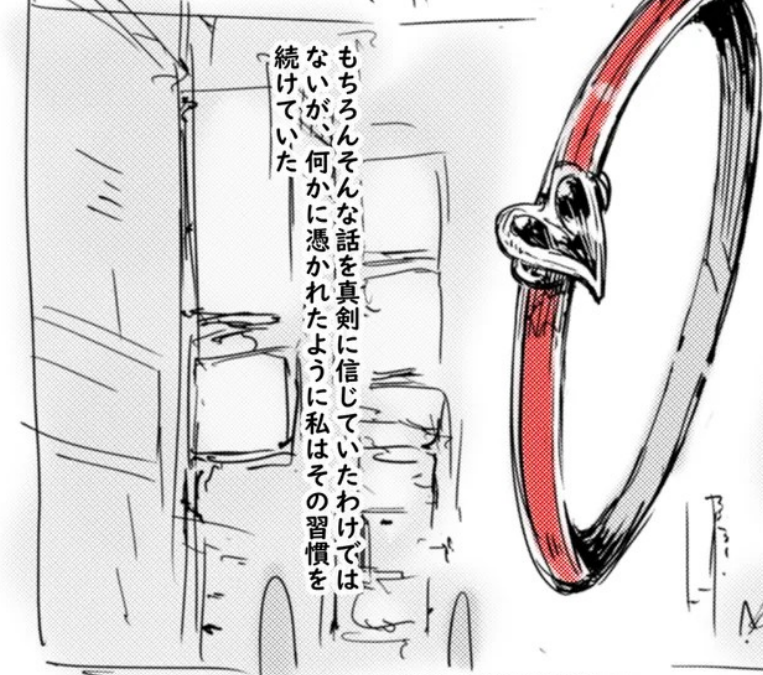
曰くこの街には少女が組織した売春組織がある

曰く彼女らの情報管理は徹底されていて逮捕者を出したことが無い



曰く彼女らは赤いブレスレットを目印にしており、合言葉を言える人しか相手にしない

生来の少女趣味を拗らせていた私は、その噂を目にしてから仕事終わりに夜な夜な街を彷徨い歩くようになった



もちろんそんな話を真剣に信じていたわけではなく、何かに憑かれたように私はその習慣を続けていた



そんな日々が数カ月続き自分でもばかばかしく感じ始めて居た頃...



はは...
何...
信...

ん...なんてこんな時間に子供があんなところに...

あれは...まさか...



あの...

君は...

はあ？

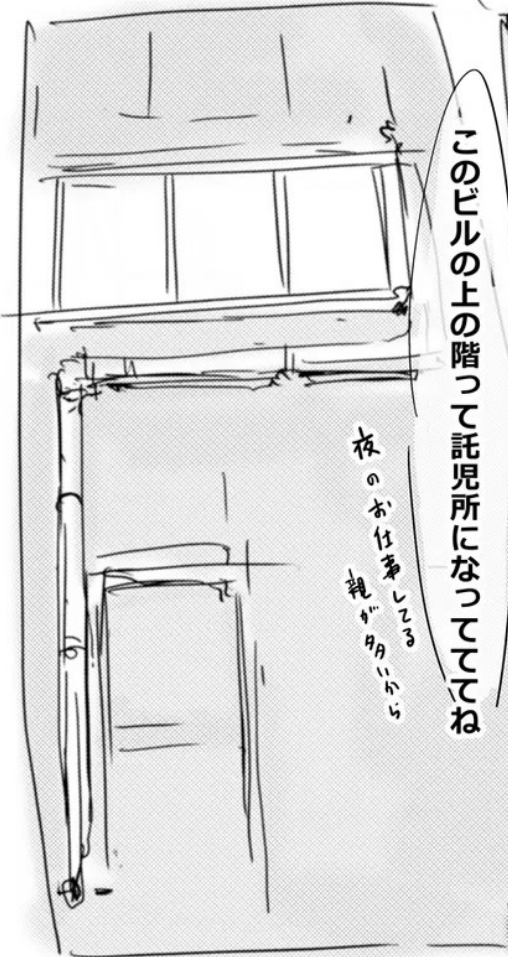
なにか...

かん...



は
は
は

あ
は
は
は



夜のお仕事してる
親がカマから

このビルの上の階って託児所になっててね



は
は
は

バ
バ

おじさんそんな話信じてるの??



そこで身分証代わりにこのブレスレット
渡してるんだよ



こんな事になったから分かったんだけど、本当はそんな事は重要じゃなかったんだ…

いや…



私じゃあ、たらさるてんやろ？

気持ち悪いよ？

それでおじさんはそんなに子供とHなことしたかったの？



そんな現実を忘れたくて、都市伝説を追うという夢で自分を誤魔化していたんだ…

趣味も将来の展望も恋人も無い…

日々の仕事に追われるだけの、代り映えのない毎日に嫌気がさしていたんだ…



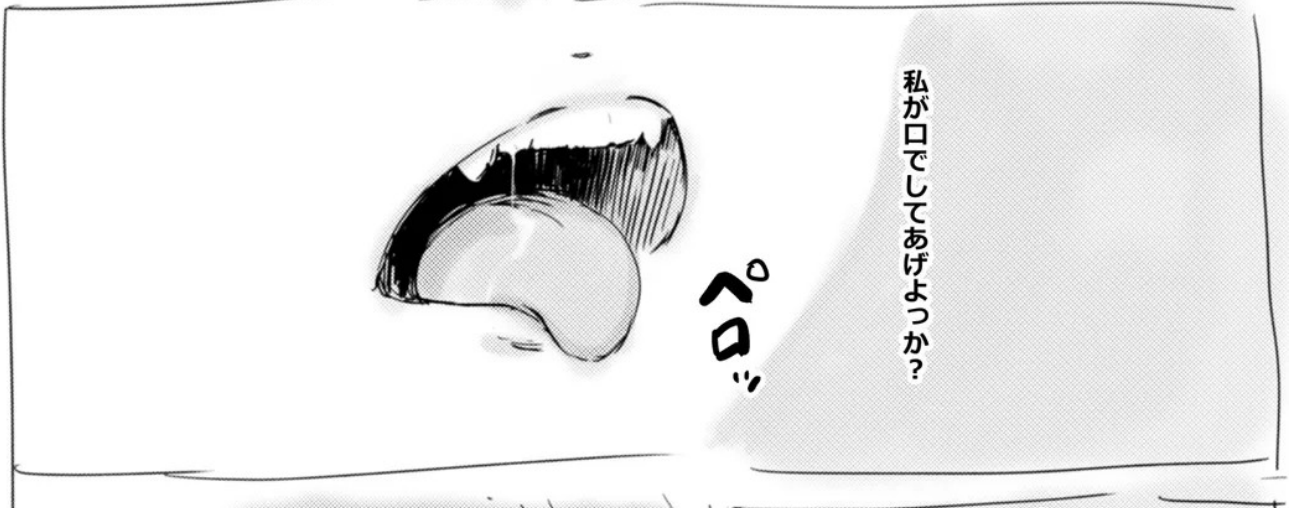
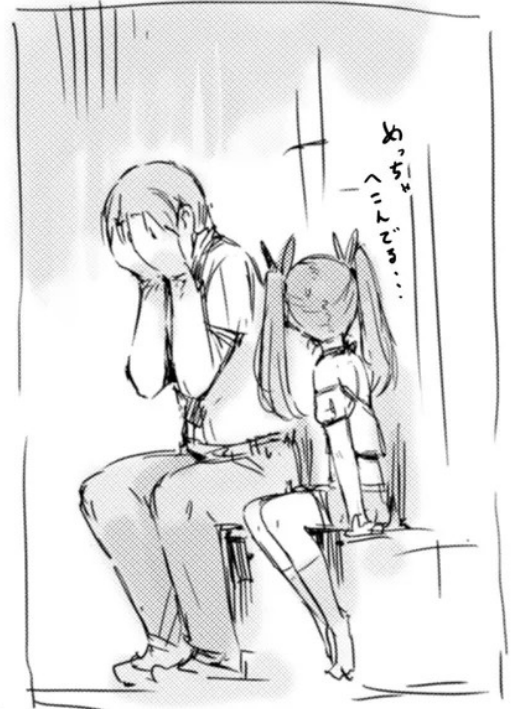
おじさんの追ってた夢はなくなっちゃったけど、これからどうするの？

それじゃ



ふん

大人も大変なんだねえ







おじさんお母さんのお客さんより大きいかも

うわ…

フッ…



臭い…おじさんちゃんとお風呂入ってる？

ごめん…最近忙しくて…

ス…ス…



フッ

ヒョーン…

ロフ

んん



うっ…俺のちんこを子供が舐めてる…っ!

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ



そんなところまで…

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

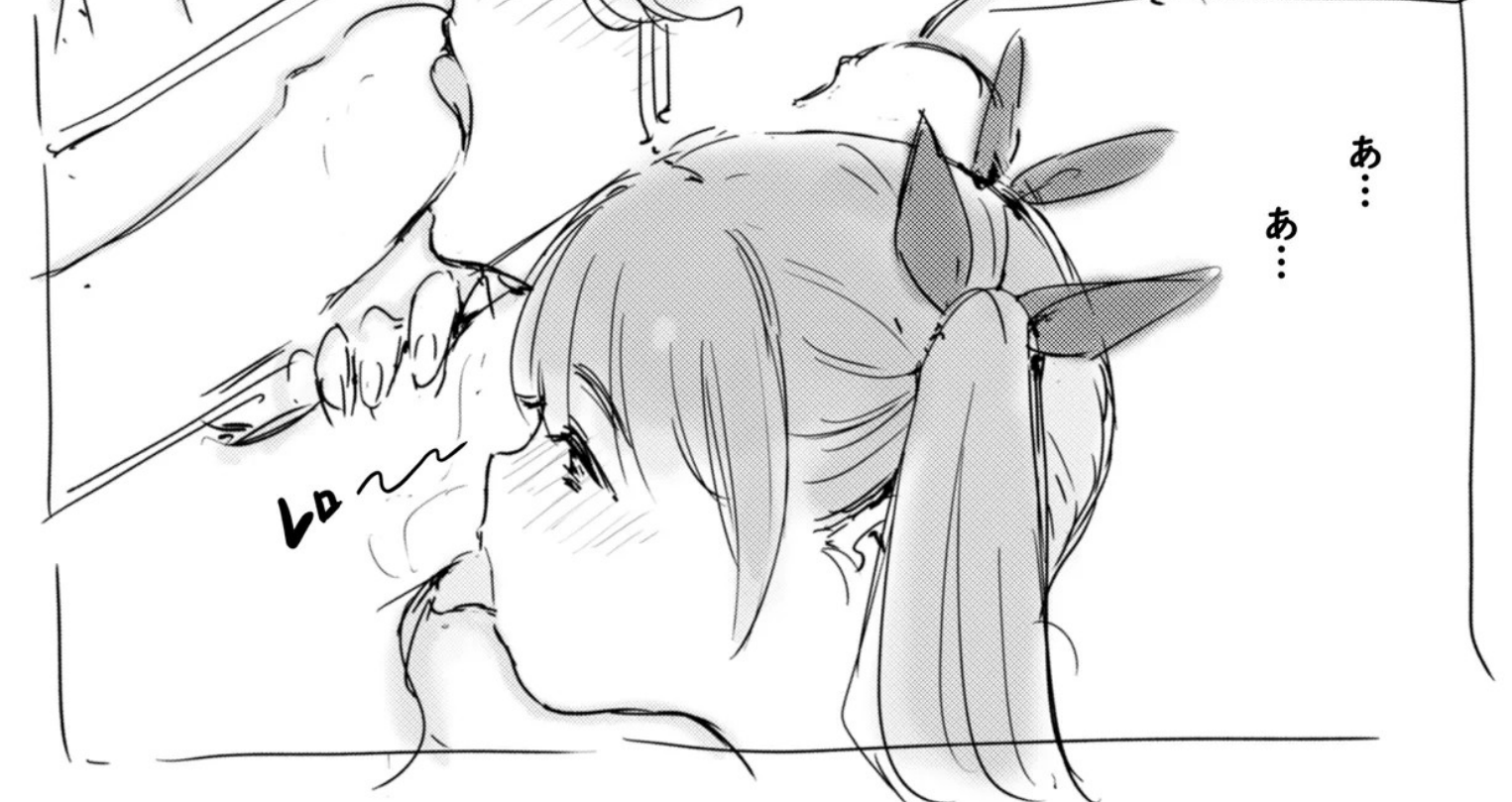
まだランドセル背負ってそうな子が…



ちゅっ
ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ



はむ

ら〜

あ…

あ…



くちゅ...



ああ...口の中あったかい...
舌が絡みついてきて...

ん...
ん...
ヌルヌルで...
ぐちゃぐちゃで...



うあつ!
そんな激しくされると...!!

ちゅぽ
ちゅぽ
ちゅぽ
うう...
射精るっ!
射精るっ!!

射精……る……っ！

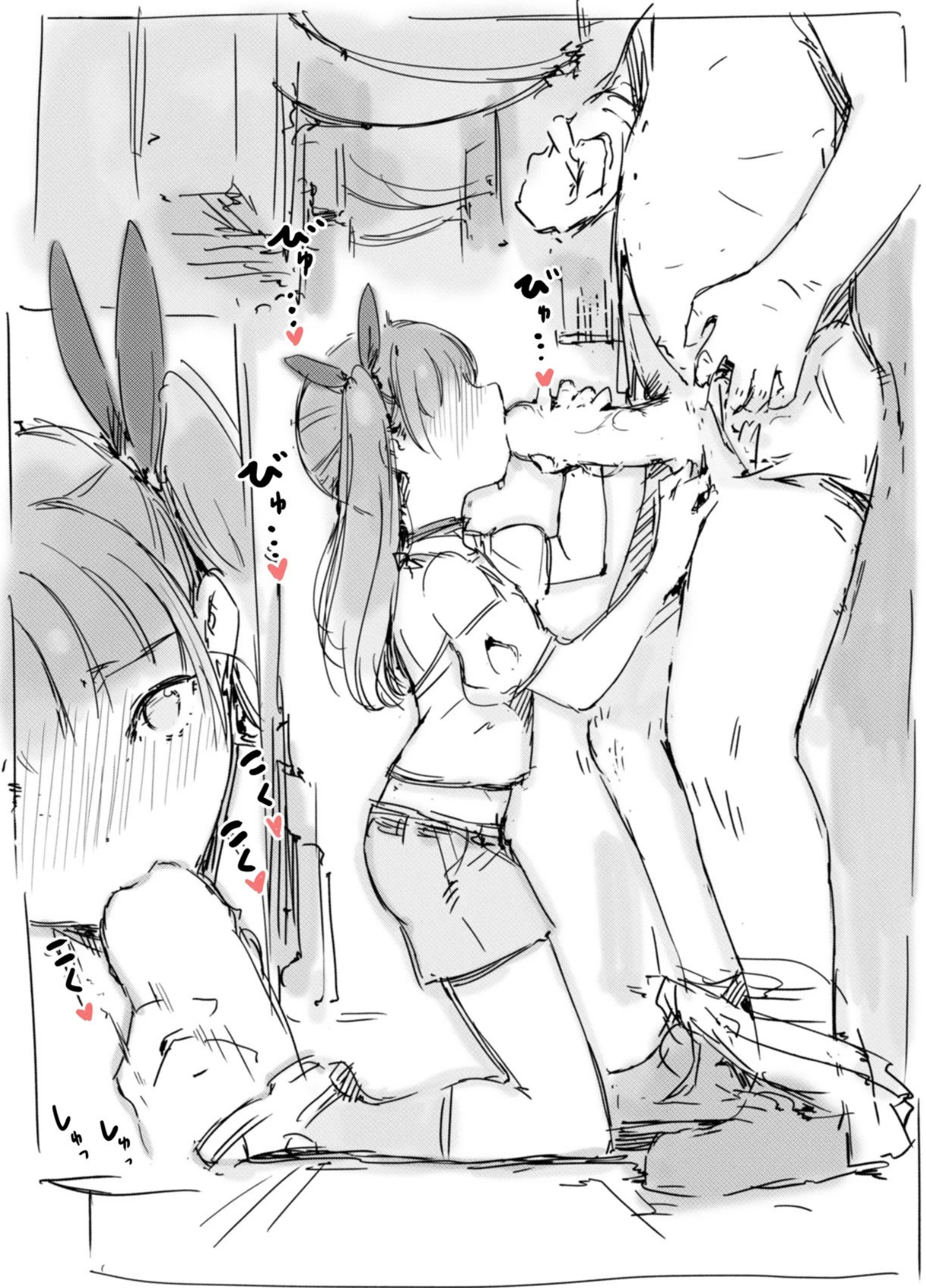
ビュッ

ズッ
ズッ
ズッ

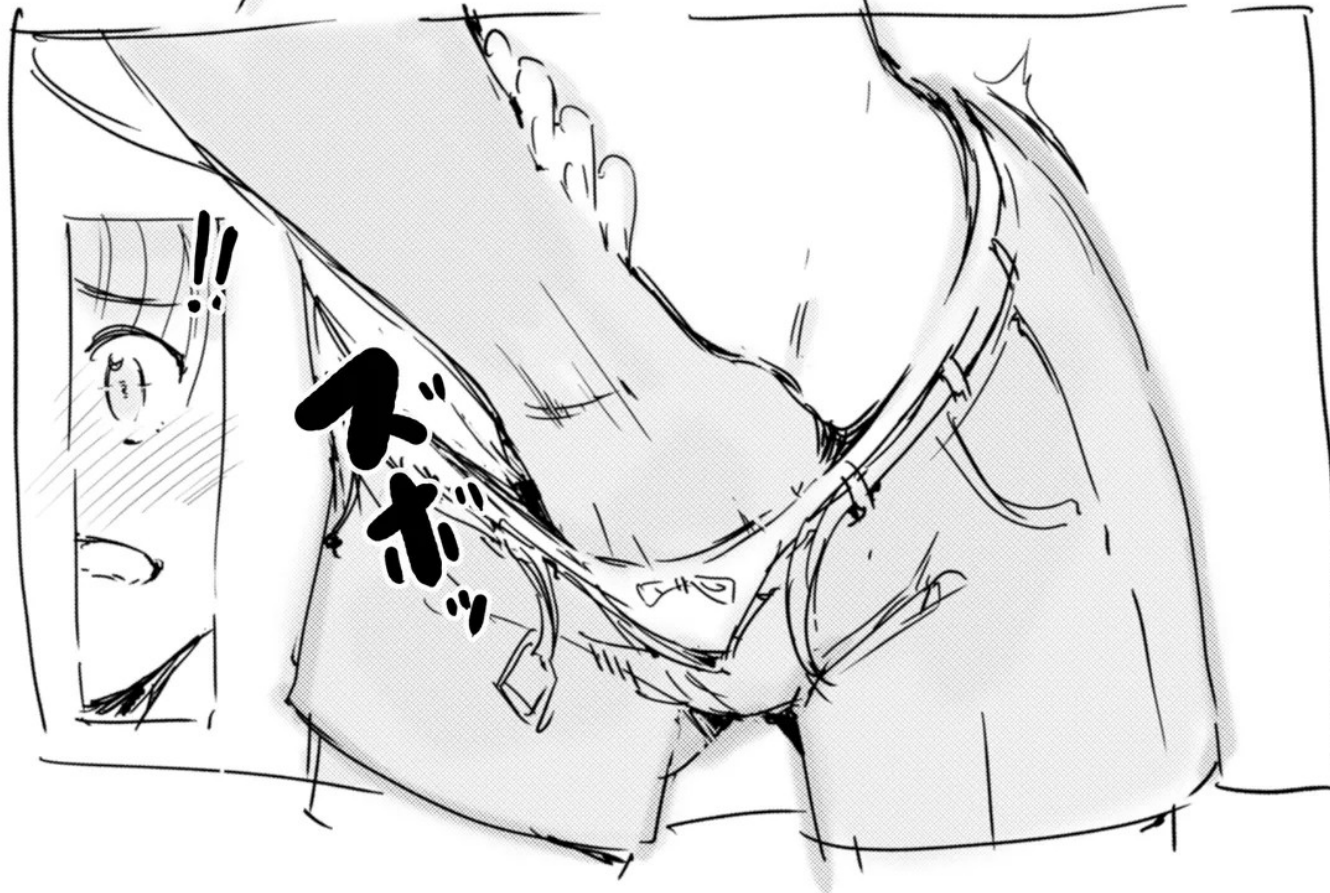
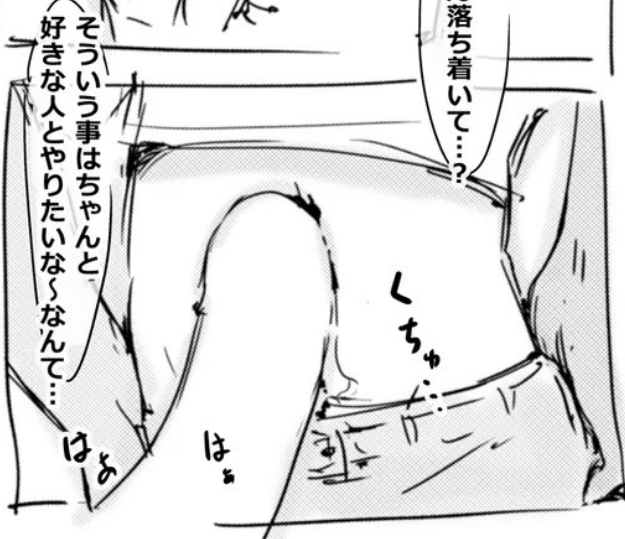


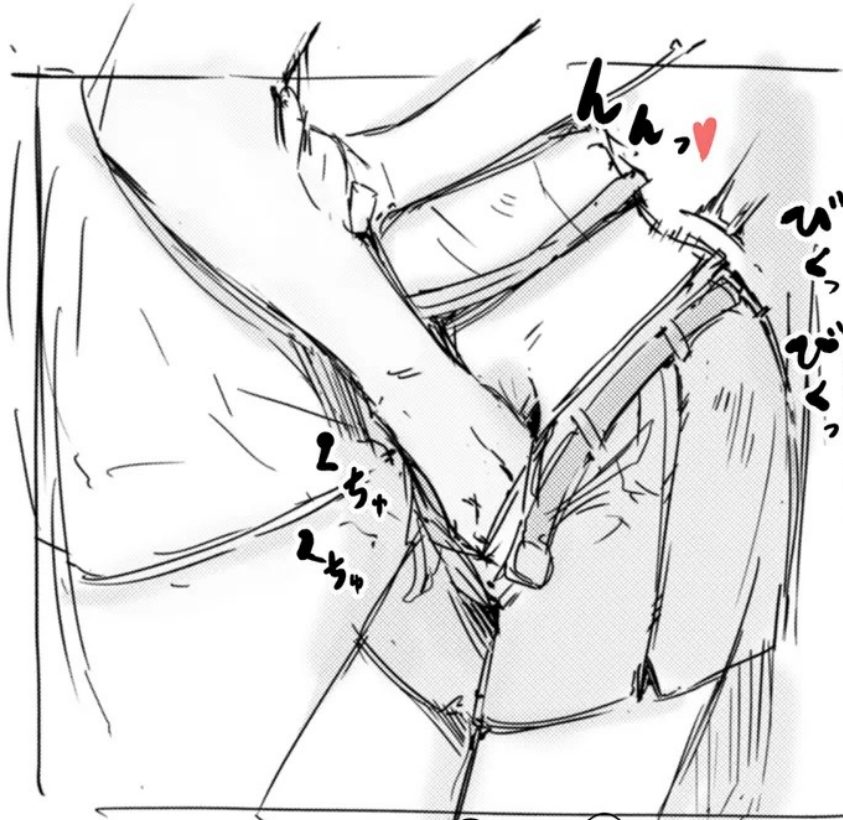
精液出してる…
子供の口に…

ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ









こんなに濡れちゃって...
君も期待してるんじゃないか♡



これなら同意ってことで良いよね♡

うわ…子供マンコが丸見えだ…
綺麗なピンク色してるよ

やあ…

そんな近くで
見ちゃだめだよお…

すげえ…ひくひくしてる



柔らかい…

大福もちみたいだ…

ちゅちゅ
ちゅちゅ

ちゅちゅ

んんん



ココもおちんちん欲しいって言ってるよ♡

たら：

それじゃひとつになろうね♡

おじさんと一緒に初めての経験しようね♡

だめだよお

や♡

あ♡

はっ

はっ

あっ

ぬっ

ぴっ



う...狭くて全然入らない...

はいれっ...
挿入いれっ...!



あっ...あっ...挿入うてく...

俺のちんこが...
キツキツの幼マンコに...
はっ はっ

はっ はっ
はっ はっ

はっ はっ
はっ はっ



ずちゅんっ

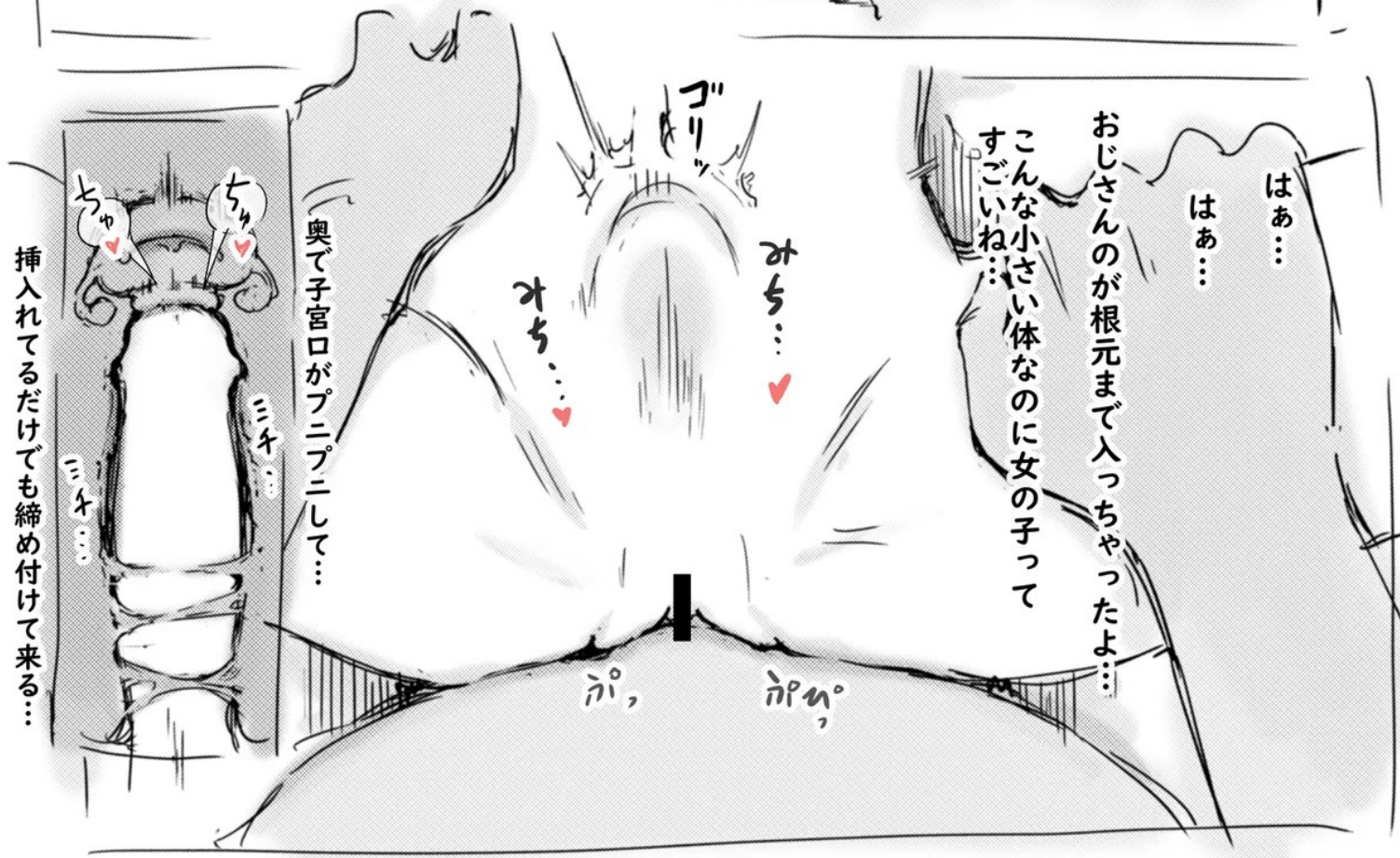
ふんっつー!!

ズ
ブ
ブ
ブ

かほっ

ちゅん
ちゅん

RR4



おじさんの根元まで入っちゃったよ...
こんな小さい体なのに女の子って
すごいね...

はあ...
はあ...

ゴリッ

みち...
みち...

みち...
みち...

かっ

かっ

奥で子宮口がプニプニして...

ミチ...

ミチ...

ちゅん
ちゅん

挿入してるだけでも締め付けて来る...

ふっ！ふんっ！

ヌルヌルした穴が締め付けてきて：
セックスがこんなに気持ちよかったなんて…！

パッ
パッ
パッ

パッ
パッ

パッ
パッ

パッ
パッ

法律で守られてる女の子の
大事なところが俺のものに…

背徳感で脳がしびれる…

ドクッ
ドクッ

ドクッ
ドクッ

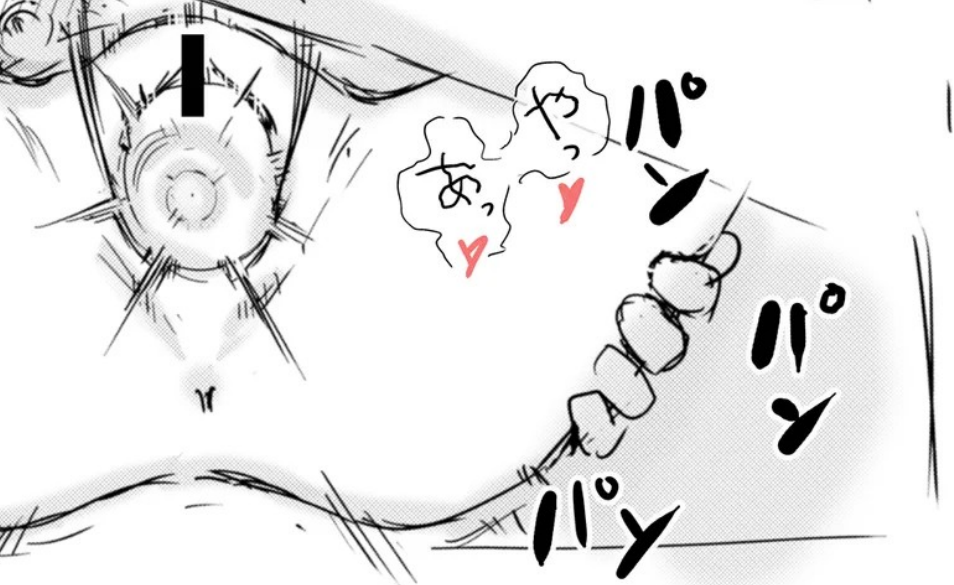
ドクッ
ドクッ

おっ…
つかぬ…
…
…

やっ
あっ
あっ

パッ
パッ
パッ

パッ
パッ
パッ





あ
な
か
で
こ
る

お
お
お

ひゅ...♡

ひゅ...♡

ひゅ...♡

ゴッ...
ゴッ...



た
ん
こ
ん
な
♡

ドッ...

ドッ...

ドキュッ

ふっ...うっ...

精子と愛液が混ざってぐちゃぐちゃだ...

ドキュッ

子供なのに...
もう受け入れる準備が出来てるんだね...

ドキュッ

ドキュッ

ドキュッ

やだめだよ...
だめだよ...
あ...

いいよねっ!!
射精すよう!!

出来ちゃったら...責任...
責任取るから...!!

赤ちゃん部屋でちゃんと
精子受け止めてねっ!!

あっあっ!!
また射精するよっ!!

うっ!!

ふっ!!

ハキッ

ハキッ

ハキッ

ハキッ

ハキッ



膣内射精いっつ！



ん
ク
ン

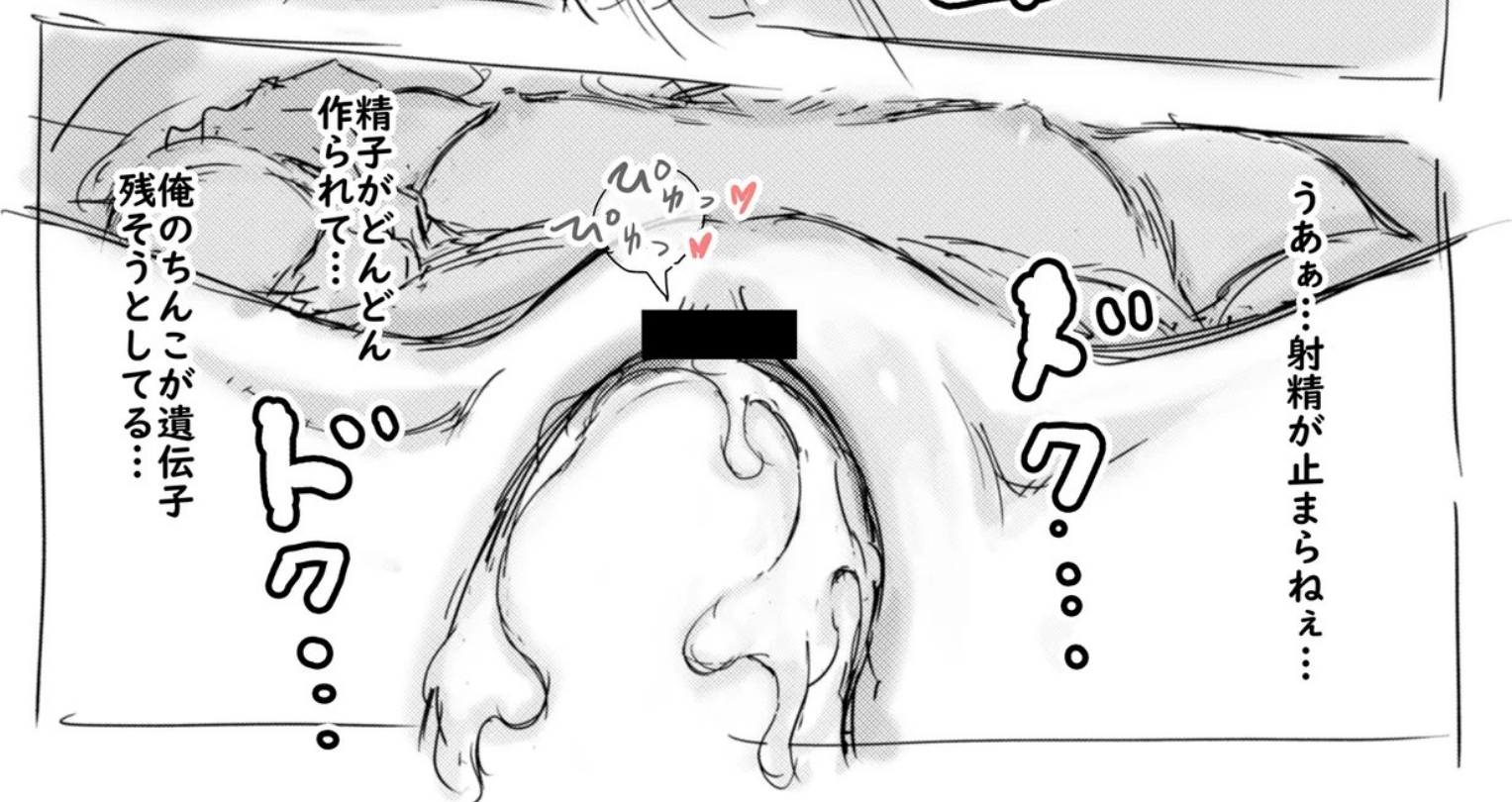
うああ…射精が止まらねえ…

精子がどんどん
作られて…

俺のちんこが遺伝子
残そうとしてる…

ドク…

ん
ク…



ドキョッ
ドキョッ

ドキョッ
ドキョッ

はあはあ…

もう何回射精したかな…

こんなに子宮に出したら
本当にこの子妊娠してるかも…

ぢかる ぢかる

そしたらどうなるんだろう…

バクッ

バクッ

バクッ

気持ちよくて
何も考えられない…

ポッ
ポッ
ポッ

バクッ

バクッ

ドキョッ

ドキョッ

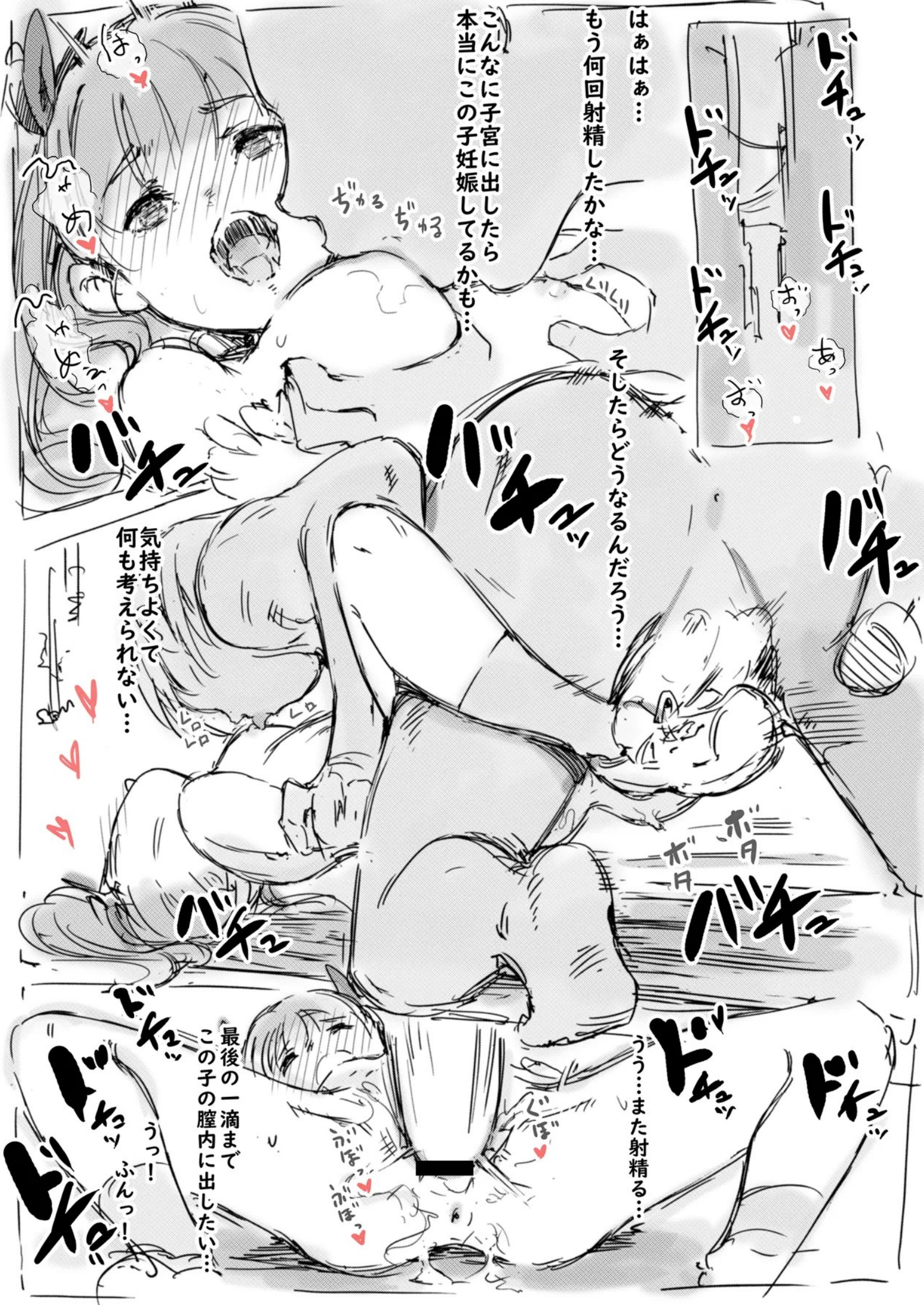
うっ…また射精る…

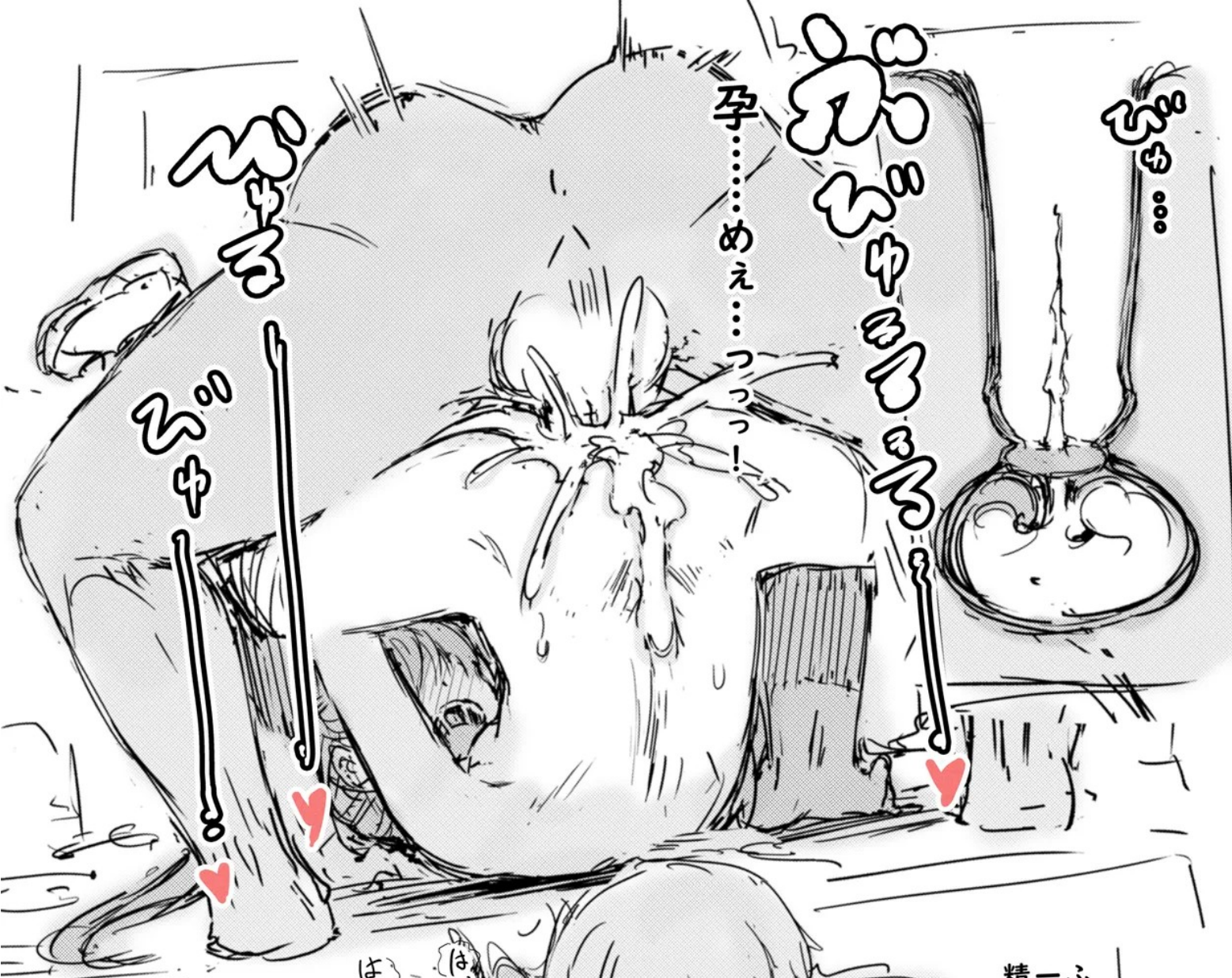
最後の一滴まで
この子の膣内に出したい…

うっ!

ふんっ!

ドキョッ
ドキョッ
ドキョッ





孕……めえ……っっっ!

ふっ

ふっ

ふっ

ふっ……うっ……
一番奥で……最後の一滴まで……
精液出し切る……っ!



こんな子供に……
俺の遺伝子刻み込んで……

びゅ

びゅ

はあ……もっ出ないな……

びゅ



はあ……気持ちよかった…

…どうしようこれ…



ぷん

うん

うん
うん
うん



とりあえず服を着せて…

あれから一カ月が経った

私はしばらくこの街に
近寄るのを避けていた

あんな事をしておいて、卑怯にも
私は捕まるのを恐れていたのだ

あれからひと月を過ぎようと
いう時になってようやく私は
罪悪感を抑えられなくなり、
この街に戻ってきたのだ

しかし、少女に謝罪しようと彼女の
言っていた訪れた託児所は、人の気配
がないもぬけの殻になっていた。

それから怖くて見ることも
出来なかった当時のニュースや
警察の広報も調べてみたが、
不思議なことにそれらしい事件の
情報は出てこなかった

あの日のことがまるで幻だった
かのように思えたが、あの日の
生々しい記憶がそれを否定していた

私はあの少女に謝罪することも
もうかなわないのだろうか…

えい…

おじさんってば!

ど
い
っ

あ~~~~っ!

やっぱりあの時のおじさんだよ
探したんだよ

君はあの時の...
その...大丈夫だった...?

もうそりだよおじさんひどいよ!

私のことほっぽって逃げちゃって!!

フニャー
しんじろく
やばい

一生かけて償って...

すまない...
どんな謝罪をしても、
許されるようなことで
はないかもしれないけど...

ううん
償いなんていらぬの

でも...



責任もって

一生愛してね♡

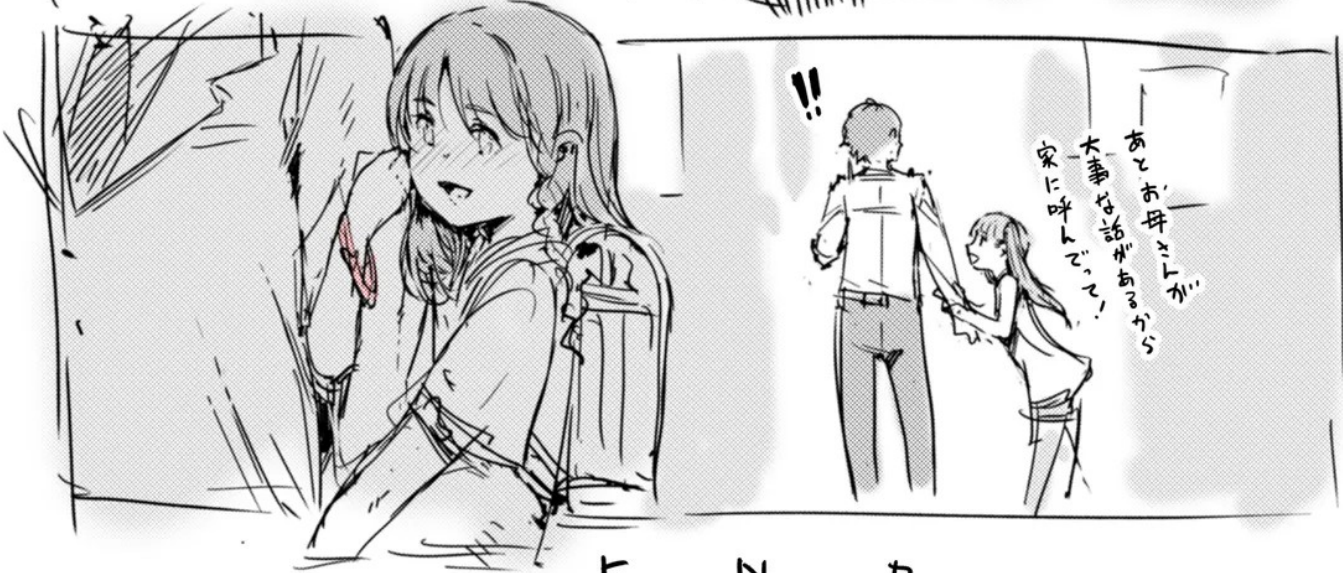


とれじゃ自己紹介！
私の名前は山谷桜果
5年生だよ

おじやトはこ

俺は…

ぽっ



あとお母さんが
大事な話があるから
家に来いって

!!